

決定！令和5年度 魅力ある県立学校づくり大賞

このたび、令和5年度顕彰校を決定しました。最優秀賞は木更津東高等学校、特別賞は下総高等学校と市原特別支援学校つるまい風の丘分校、優秀賞は千葉工業高等学校、仁戸名特別支援学校、長生特別支援学校、野田特別支援学校です。

最優秀賞 木更津東高等学校

木更津東高等学校は、木更津市80周年記念事業として行った2つの取り組みです。「子どもが主役のファッションショー」は、小・中学生30人をモデルに、モデルの好みからデザインを考え衣装を作り、ヘアメイクもそれぞれ考え、本番はステージ脇まで付き添いサポートしました。2,000人近い方が来場、ネット配信もされ、衣装の展示も行いました。「地域企業との連携商品開発」は、株式会社KURKKU FIELDS（クルックフィールズ）と共に調味料と食材を研究し、さつま芋の植え付けから収穫までを生徒が行い、さつま芋による商品の企画・試作・試食を繰り返してクッキーなど2種類の商品を開発しました。制服柄のラッピングも考え、ポスターも作り、こちらもネット配信されました。

特別賞 下総高等学校

下総高等学校は、園芸科生徒の地域資源利用と環境に配慮した2つの取り組みです。地域で困っている特定外来生物「チャネルキャットフィッシュ」通称アメリカナマズについて、印旛沼漁業協同組合などからの聞き取りをきっかけに、釣り竿で捕獲し、有機液肥の培養に成功しました。また、成田国際空港の第3滑走路造成工事に伴う伐採樹木チップから、堆肥も作りました。これらにより栽培した野菜を各所で販売し、メロンは「CCF（Channel Cat Fish）メロン」と命名しました。2つの取り組みは、パネルにまとめられ、販売会や各種イベントで、生徒が解説しました。

特別賞 市原特別支援学校つるまい風の丘分校

市原特別支援学校つるまい風の丘分校は、障害をもつ高等部専門学科の生徒80名が学んでいます。授業で身に付けた知識や技術を生かし、生徒全員で繰り返し地域貢献活動に取り組んでいます。独居高齢者宅や高齢者施設、公民館、病院、駅など、様々な場所で環境整備や清掃を行い、更に野菜や花苗の販売も行いました。また、地域のニーズと生徒のアイデアとをマッチさせ活動を決め、生徒の出身中学校の清掃を行い、中学生に床洗浄やワックスがけの方法を教えました。地域サッカーチームのグラウンドなどの清掃活動では生徒の働きぶりが絶賛され、お礼として分校でサッカー教室が開催されるなど、地域との交流が広がっています。

優秀賞

- 千葉工業高等学校 千葉県誕生150周年記念のカウンタダウンボード製作、ものづくり教室、出前授業など
- 仁戸名特別支援学校 病気療養中の児童生徒への学習機会の保障、ICT機器を活用した双方向授業・生徒間交流など
- 長生特別支援学校 長養太鼓、ポッチャ競技振興、津波避難訓練と「ラップ♪防災」の発信など
- 野田特別支援学校 野田市教育委員会と連携した、小・中学校に「副次的な籍」を置く試み（千葉県初の挑戦）

すべての応募校の応募資料を教育庁ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/miryoku/koukou/miryoku-r05.html>

この件についての問合せ先 各顕彰校及び企画管理部教育政策課 電話043（223）4019